

認知症になっても自分らしく暮らし続けることができる社会を目指して

9月は世界アルツハイマー月間です

認知症は誰もがなりうるものです。国内では、認知症高齢者は団塊ジュニアの世代が65歳以上になる2040年には584万人あまりにのぼるといふ推計がでています。

認知症は誰もがなりうる可能性のあるもので、いつ自分や家族が認知症になるかわかりません。今後、一人暮らしの高齢者が認知症となり、物忘れのほか、理解力や判断力の低下などの症状はあるものの、食事や日常生活はできる方が増えてくると思います。他人事ではないという意識を持ち、誰もが安心して生活できる社会に向けて、認知症についての理解を深めていきましょう。

世界アルツハイマー月間に合わせ、本市でも毎年、認知症の普及啓発活動を行っており、今年も市立図書館や市総合保健福祉センターで認知症に関する展示やチラシなどを設置しています。今回は本市での認知症サポート体制についてご紹介します。

世界アルツハイマー月間に合わせた串間市での認知症に関する普及啓発活動について

市総合保健福祉センターでは、認知症に関する取り組みを展示紹介しています。市立図書館では、認知症の本のコーナーを設置して、認知症に関する正しい理解を進め、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに協力しています。

また、図書館では「片付けられない」「予定や約束を忘れる」など、「もの忘れ・認知症」が気になるご家族の方への個別の無料相談も実施しております。希望される方は左記の問い合わせ先に随時、予約をお願いします。

問 医療介護課介護保険係
☎ 72-0333

問 串間市社会福祉協議会
認知症地域支援推進員
☎ 72-6943

問 串間市立図書館
☎ 72-1177

今年は介護保険サービス事業所の作品を展示します

介護保険サービス事業所「長寿の里デイサービスセンター」に通って食事・入浴の介護やリハビリなどを受けている利用者の方が、認知症のマスコットキャラクターロバ隊長の制作をしました。手先を動かし、会話をしながら脳トレにもつながっています。



長寿の里デイサービスセンターでの制作様子

認知症に関する事業

(新)【認知症の本人のつどい】つながる会

ご本人同士が集まって、自らの体験や思いなど、自由に話し合うことができる場です。

●対象者 串間市在住で認知症と診断された本人

●場所 けんなん病院温室

●日時 毎月第3水曜日

午後2時～午後4時

問 医療法人十善会けんなん病院
☎ 72-0224



利用者の声

・まさか自分が人のお世話になるなんて思ってもいなかった。皆さんに良くしてもらって良かった。

■問い合わせ先

・医療介護課介護保険係(内線515)
☎ 72-0333

・串間市社会福祉協議会
☎ 72-6943

「共に生きともに歩もう 認知症」



市立図書館展示



市総合保健福祉センター展示

・知合いの方が参加されて安心できた。

・家族の声

・本人に付きっきりで話をじっくり聞いていただくことで、満足感や安心感につながっていると思います。このような会を1週間に1回ぐらい開催していただきたいと思います。

・体を動かすことが好きだから、コグニサイズなど開いてほしい。

問 串間市社会福祉協議会
認知症地域支援推進員
認知症コーディネーター
(担当:井手) ☎ 72-6943

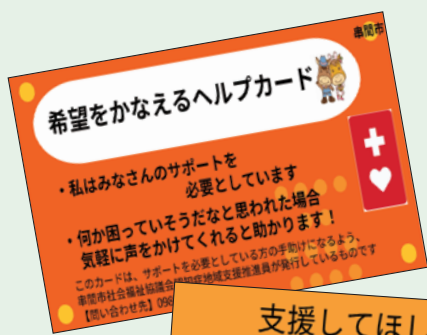
(新)【認知症高齢者等見守りシール交付事業】

(新)【希望をかなえるヘルプカード】

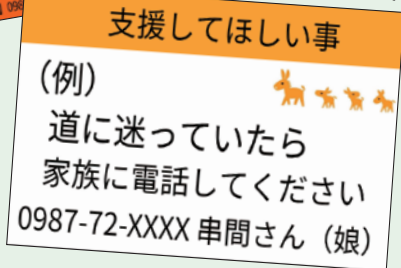
安心していききたいところへ出かけよう

自分が望んでいること、やりたいことを安心してスムーズに

裏



表



二次元コードを読み取ると伝言板が表示され、ご本人情報の確認が可能になります。同時にご家族へ発見通知をメール送信します。伝言板で発見者と連絡を取ることができ、システムです。